

巻 頭 言

JFE エンジニアリング
代表取締役社長（CEO）

大 下 元



世界は今、急激かつ途方もない変化の真っ只中にあります。とりわけ気候変動に対する危機感は地球規模で急速な広がりを見せており、若い世代が未来に亘って豊かに暮らせる環境をつくるために、私たち一人ひとりが今すぐ積極的に行動を起こすことが強く求められています。日本政府も「2050年までのカーボンニュートラル実現」を宣言し、世界に後れを取っていたこの分野を成長戦略に位置付け、強力に推進する方針を打ち出しました。

この他にも、世界共通の目標であるSDGsの達成やDX推進はもちろんのこと、サーキュラーエコノミー（循環経済）の実現や社会インフラの再整備・効率運営など、我々が取り組むべき課題は山積しており、いずれも早急な対応が必要となっています。

このような社会情勢や環境を踏まえ、JFEエンジニアリングは、“くらしの礎を「創る」「担う」「つなぐ」—Just For the Earth”を当社のパーパス（＝存在意義）として定義しました。安心・安全な社会を作り、人々の暮らしを力強く支え、そしてそれを次世代につなげる、それこそが当社の使命であるものと考えています。

今回のJFE技報では、「エンジニアリング特集号」として、脱炭素社会の実現に向けた「カーボンニュートラル」、サーキュラーエコノミーの実現に向けた「Waste to Resource」、社会インフラの効率的運営サービスである「複合ユーティリティサービス」、社会インフラの強靱化・長寿命化のニーズに応える「基幹インフラ」に加え、これらを支える技術基盤である「DX」の中から、時代の要請に応える技術や商品の一部を紹介いたします。

当社は、「常に世界最高の技術をもって社会に貢献する」ことを企業理念とするJFEグループの一員として、今後も地球環境の改善につながる技術開発に挑戦し、社会のニーズに対応してまいります。引き続き、皆様からのご意見やご支援をいただければ幸いです。